

下野市の小中学校では食育を推進しています

卒業するまでに約1,800食

下野市では、昨年度文部科学省の研究指定を受け、「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を実施しました。市内の全小中学校で、学校栄養職員の配置の有無にかかわらず、学校給食を起点として同様の食育を推進しようという内容です。小・中学生は9年間で約1,800回の給食を食べます。小中学校では、この学校給食をとおして、食生活や食習慣の意識等を身につけられるようにしたいものです。

そして、家庭・地域・学校が連携し、「食」についても考え、学び、実践し、食を大切にする心を育てていきます。

【今後の予定】

献立募集!

伝来300年 「かんぴょういっぴょう給食」

平成24年は、栃木県へのかんぴょう伝来300周年です。生産日本一を誇る下野市ならではの「かんぴょういっぴょう給食」の献立を児童生徒から募集し、市内小中学校の給食の献立に取り入れます。

これまでとり組み

①食に関する授業



【やさいだいすき】

(小学一年生の授業)

野菜を進んで食べようという気持ちが育ちました。

【どんな食べ方がいいのかな】

(小学五年生の授業)

ペーパーバイキングを行いました。主食・主菜・副菜を揃えて食べる大切さを理解しました。



②【親子料理教室】(郷土料理教室)

下野市産の新鮮な食材でつくりました。生産者の方や食生活改善推進協議会へルスメイトさんとの交流も深めました。郷土料理教室では、「しもつかれ」をつくり、地域理解や郷土の食文化への関心を高めました。



③食に関する講演会

【食物アレルギーに関する講演会】

学校給食における食物アレルギーへの対応について理解を深めました。



【食生活改善に関する講演会】



④しもつかれいっぴょうデー

毎月18日を「しもつかれいっぴょうデー」とし、地産地消を推進しています。学校給食への地場産物の納入率が向上し、多くの下野市産の農産物を伝えることができました。

成果として

栄養のバランスを考えての食事、朝ごはんの内容(主食とおかずを揃える)など、食に対する意識の向上がありました。

「下野市食育推進計画」では、生涯を通じた食育活動をおとして、食の大切さを理解し、食に対する感謝の気持ちを深め、心身の健康と豊かな人間性を育むことをめざしています。小中学校での推進を継続していきます。

●問い合わせ先

学校教育課 ☎(52)1118

